

# 地区別防災カルテ 6. 東部地区

地区名：東部地区

地区番号：6

平成24年度作成

○地区の構成

東道野辺1～7丁目  
丸山1～3丁目  
鎌ヶ谷1～9丁目  
南鎌ヶ谷1～4丁目

○地区の概要

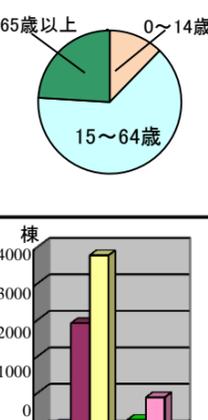
(位置) 東部地区は、市の南東に位置し、船橋市に隣接する。  
(地形) 地区の大部分が砂礫台地であり、準用河川二和川が流れる。  
(土地利用) 鎌ヶ谷大仏駅の周辺市街地、馬込沢駅周辺市街地、鎌ヶ谷駅の外周市街地及び工業系の市街地に大別される。  
(交通) 幹線道路として市内を東西に通過する主要地方道千葉鎌ヶ谷松戸線、市川方面と白井方面を結ぶ同市川印西線、そして、市内の南北を通過し船橋方面と我孫子方面を結ぶ同船橋我孫子線があり、地域の中心的な道路となっている。  
鉄道は、鎌ヶ谷大仏、鎌ヶ谷、馬込沢の各駅が利用圏である。

○地区の位置図

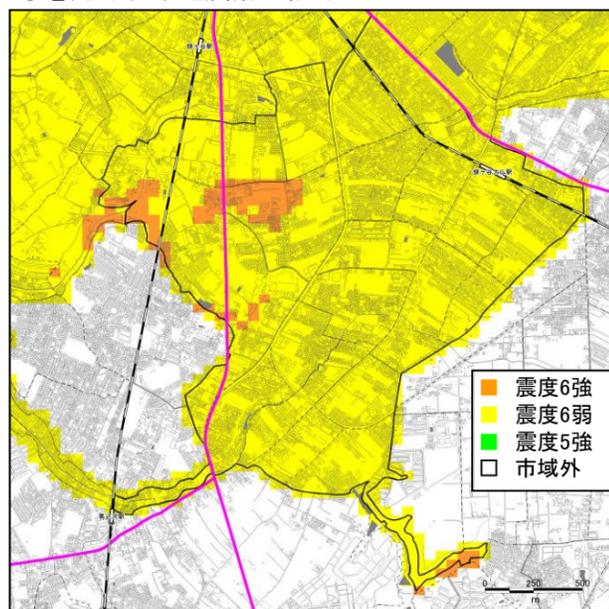


○社会条件

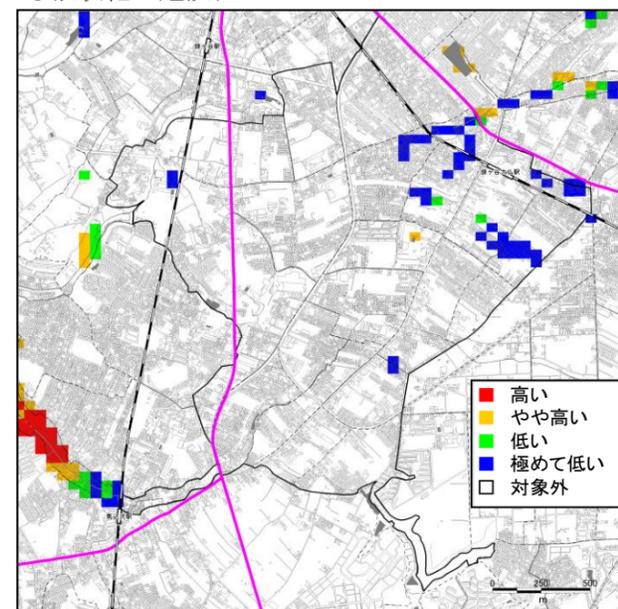
0～14歳	3,325 人	12.3%	(対地区)
15～64歳	17,253 人	63.7%	(対地区)
65歳以上	6,510 人	24.0%	(対地区)
人口(合計)	27,088 人	24.9%	(対全市)
人口密度	8,208 人/km²		
世帯数	11,198 世帯	24.7%	(対全市)
建物棟数			
木造			
昭和36年以前	106 棟	1.2%	(対地区)
昭和37～56年	2,893 棟	32.5%	(対地区)
昭和57年以後	4,753 棟	53.4%	(対地区)
非木造			
昭和45年以前	48 棟	0.5%	(対地区)
昭和46～55年	242 棟	2.7%	(対地区)
昭和56年以後	863 棟	9.7%	(対地区)
建物(合計)	8,905 棟	27.1%	(対全市)



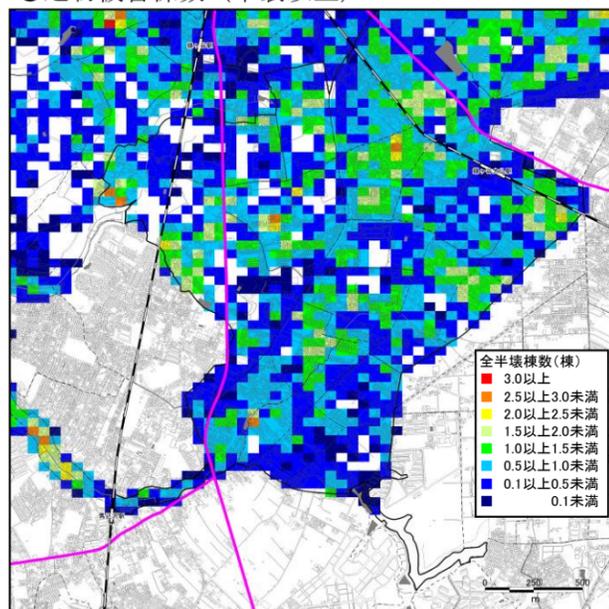
○災害予測の結果(図)  
＜鎌ヶ谷市直下地震(Mw7.3)の場合＞  
●想定される地震動の強さ



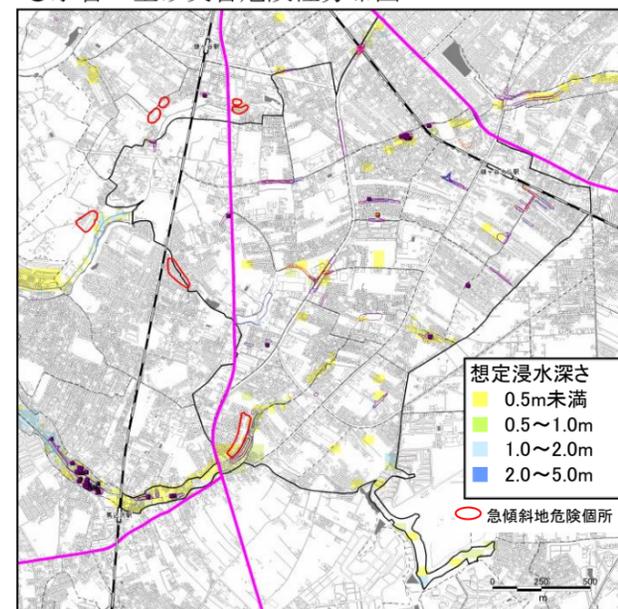
●液状化の危険性



＜鎌ヶ谷市直下地震(Mw7.3)の場合＞  
●建物被害棟数(半壊以上)



＜水害・土砂災害の場合＞  
●水害・土砂災害危険性分布図



○防災関連施設

避難場所	屋外収容人数	広域避難場所	屋外収容人数	高齢者福祉施設
東部小学校 道野辺小学校 第二中学校	2,724 人 2,997 人 3,425 人	鎌ヶ谷高等学校  (※下線は臨時ヘリポート設置予定地)	11,319 人	ケアホームききょう(共)、はるデイサービスセンター(通)、リタジネン森の学校(リ)、あつたかホーム鎌ヶ谷(通)、デイサービス牧場(通)、リーベン鎌ヶ谷(有)、地域密着型サービス事業所リーベン鎌ヶ谷(グ)、適合高齢者専用賃貸住宅 銀木犀鎌ヶ谷(サ)
耐震性貯水槽・防災倉庫	第二中学校(貯水槽) 東部小学校(防災倉庫)		(介):介護付老人ホーム、(通):通所介護、(居):居宅介護、(グ):グループホーム、(特):特別養護老人ホーム、(訪):訪問介護、(サ):サービス付高齢者向け住宅、(有):有料老人ホーム、(リ):通所リハビリ、(共):共同生活介護	
消防署	消防団施設		障害者福祉施設	
	第1分団、第2分団		myペアホーム鎌ヶ谷Ⅱ	
警察署・交番・駐在所	病院(医科)		児童ホーム	
	飯ヶ谷内科クリニック、林内科医院、みちのペクリニック、山元医院、原沢外科胃腸科整形外科、高橋医院、本田産婦人科クリニック、中井小児科、大仏整形外科医院、大仏内科クリニック、長谷川皮膚科、かねこ眼科			
保育園・幼稚園	まるとま保育園 ふじ幼稚園、さくら幼稚園、ひかり幼稚園		鉄道(駅名)	
	鎌ヶ谷高等学校、道野辺小学校、第二中学校 東部小学校		新京成電鉄(鎌ヶ谷大仏駅) 指定公共機関等	

○近年の災害履歴(平成18年～22年)

水害	平成20年4月8日大雨(道路冠水1件)、平成20年5月20日台風4号(道路冠水5件)、平成20年8月30日大雨(床下浸水1戸、道路冠水3件)、平成21年8月10日大雨・洪水(道路冠水4件)、平成21年10月5～8日大雨・台風18号(道路冠水5件)、平成22年9月8日大雨・洪水(床下浸水6戸、床上浸水1戸、道路冠水17件、道路閉鎖1件)、平成22年9月13日大雨・洪水(床下浸水8戸、床上浸水3戸、道路冠水7件)、平成22年12月3日大雨・洪水(床下浸水7戸、道路冠水7件)、平成24年6月19日台風4号(道路冠水1件)
土砂災害	

○災害予測の結果(概要)

項目	主な予測結果	危険度評価 →高い	概要
地震の揺れの強さ	平均震度6弱		強い揺れが予測されている。
液状化の危険性	低い		地区全体で低い。
建物被害	全半壊率8.9%		木造建物中心に被害が予測される。
延焼(冬18時)	建物焼失割合2.6%		住宅密集地を中心に延焼が広がることが予測される。
人的被害(冬18時)	死傷者予測数146人		主に建物被害による負傷者が予測される。
水害の危険性	他の地区と比較してやや高い		河川沿いや凹地などを中心に浸水や道路冠水の事例が数多くある。
土砂災害の危険性	地区の南西部に2箇所		土砂災害危険箇所では住宅被災の危険性がある。